

卒業式『夢 かがやく未来へ 挑戦』

真新しい角館中学校の制服に身を包んだ6名の卒業生。この1年間、中川っ子のリーダーとしてがんばってくれた『GunGun学年』のみなさんが中川小学校を巣立って行きました。門脇市長さんをはじめ、多くのご来賓の皆様がおいでくださいました。巣立ちのときを迎えた6人の意気込みと「しっかりと気持ちを伝えよう！」という在校生の思いが、しっかりとした歌声や呼びかけとなって表れ、42人の心と心が響き合いました。

卒業生のみなさん、中学校での活躍を応援しています。



【GUNGUN学年 新しい一歩を踏み出す!】



卒業おめでとう!

- S. さん
- C. さん
- T. さん
- F. さん
- H. さん
- T. さん



GunGun学年のみなさんへ ～はなむけの言葉として～ (抜粋)

GunGun学年のみなさん、ご卒業おめでとう。

卒業証書をお渡しした今、みなさんが目線をそらすことなく、しっかりと見つめる『まなざし』から、新たな世界へと踏み出していく『決意の強さ』が伝わってきました。

(中 略)

みなさんは、いろいろな行事や全校的な活動を進めるにあたり、全校のみんなに「めあて」を示し、「何に、どのように取り組めばよいのか」という「見通し」をもたせてくれました。

全校のみんなは、その「見通し」のもと、「自分の取組はどうか」「自分たちの取組はどうか」という意識を大事にして活動することができました。そして、活動の終わりには、「今日の取組はどうだったか。次は、何をどのようにやればいいのか。」という「振り返り」を伝え、「次の活動」へと全校のみんなの気持ちをつなげてくれました。みなさんのおかげで、今では、学習や児童会活動、学校行事など、いろいろな場面で、下級生のみんなが、この「見通し」と「振り返り」そして「次へのつながり」ということを意識して取り組む姿が根付いてきました。

ところで、中川小学校では、「三省」という言葉を毎日のように耳にします。中川地域と密着した行事の「三省まつり」「三省レク」「子供三省まつり」。地域の伝統芸能の「手踊り」や「民謡」に親しむ「三省タイム」。そして、学校報の名前も「三省」です。この「三省」という言葉は、いったいどこから来たものなのでしょう。

中川小学校の歴史をたどってみると、中川小学校には百四十二年の歴史があること、いくつかに分かれていた学校が一緒になったこと、それに伴い、何度か校舎の場所を変えてきたこと、そして、いつのときでも、この中川地域の方々の熱い思いを受けてきたことが分かります。その歴史の中で、今から約百三十年前、小勝田村、川原村、山谷川崎村の三つの村が「三省小学校」という名前の学校を開校しました。それが今の「中川小学校」につながっているのです。

「三省」という言葉は、その当時の代表的な学問であった「論語」の中に見いだすことができます。

「吾、日に三度、吾身を省みる。」から始まる「三省の教え」を今の言葉に直してみると、「私は、毎日何度も自分の行いについて振り返っている。

①人の相談を聞くときに、真心を尽くしていたか。

②友達と付き合うときに、うそをついてないか。

③自分が十分に理解できていないことを、分かったふりをして、人に伝えたり、教えたりしてないか。」

ということです。これは、古くからの教えではありますが、今の時代でも大切にしたい考え・態度です。

卒業生のみなさんが、この一年間で全校のみんなに示してくれた「見通し」と「振り返り」、そして「次へのつながり」は、正に、百三十年前からの「中川地域の方々の願い」である「三省」の考え・態度を進めることでもあったのです。

そして、この考え・態度は、今後の中学校生活や、その先の社会での生活を創っていく上で、とても大事なものであると思います。どうぞ、今後も、中川小学校で培ったことを土台に、しっかりと自分に磨きをかけ、「将来の夢・目標」を大きく育てていって下さい。

輝く未来へ続く大空に向かい、力強く羽ばたく卒業生のみなさんの前途をお祝いします。

門 送 り

5年生の運営委員が中心になり全校みんなが拍手と握手で卒業生をお見送りしました。

心配していた天気も回復し、暖かな春の陽差しに包まれて、にこやかに、晴れやかに小学校生活に別れを告げたGunGun学年のみなさん。中学校でのご活躍を、お祈りします。

